

会議顛末書

						記 録 者	副主幹	石川 純
供 覧	市 長	副市長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 査 係 長	グループ員
	/							
件 名	令和7年度第3回次長会議							
年 月 日	令和7年7月24日（木）							
時 間	午後2時30時～午後4時							
場 所	附属棟2階第2会議室							
欠 席 者	廣田都市整備部次長							
内 容	<p>【付議事項】</p> <p>1 公開型 GIS のデータ拡充について</p> <p style="padding-left: 2em;">資料に基づき都市計画課より説明</p> <p>《主な意見・質疑等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事業は、主に都市整備部内の地理空間情報を統合することを目的に都市計画課所管で進めてきたものと認識している。デジタル田園都市国家構想交付金を活用して実装したため、令和8年度まで、目標達成状況の国への報告が義務付けられているとのことであるが、その先の全庁的な運用等も見据えると、今後は全庁的な調整をした上で進めるべきと考える。 <li style="padding-left: 2em;">現在、デジタル都市推進課が事務局となっている龍ヶ崎市情報化推進委員会の下部組織として、情報化推進検討部会を設置しているが、その組織を次長に改め、システムに関する次長会議の役割を持たせるよう調整しているため、間に合うようであれば、今年度の取組も含めて、そちらでも協議しながら進めていただきたい。 ・ 茨城県が運用している統合型 GIS との棲み分け等について、デジタル都市推進課とよく調整しながら進めていただきたい。 ・ 土地利用の関係で調査をする事業者の利便性向上や職員の窓口負担の軽減という視点では、農振農用地や埋蔵文化財包蔵地の情報はニーズが高いため、取り込んでいくことが望ましい。 <p>2 龍ヶ崎市都市計画提案制度手続要綱の策定について</p> <p style="padding-left: 2em;">資料に基づき都市計画課より説明</p> <p>《主な意見・質疑等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成14年の法改正で創設された制度であるが、今、本市で要綱を策定する理由は何か。 <li style="padding-left: 2em;">⇒ 昨年度策定した新たな都市計画マスタープランにおいて、当該制度を活用した「住民や民間が主体となるまちづくり」の推進を図っていくことを示したところであり、制度の活用に向けて要綱を整備するものである。 ・ 県内で要綱を定めている自治体はあるか。 <li style="padding-left: 2em;">⇒ 県内では6市が要綱を定めている。 ・ 自然環境の保護等、開発を抑制するような提案もできるのか。 <li style="padding-left: 2em;">⇒ 可能である。 ・ 都市計画提案評価委員会の構成員は、関係課長で良いと思う。関係課長で内容を精査した上で、庁議に諮れば良い。 							

3 令和7年度における「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の取組について

資料に基づきスポーツ推進課より説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 「教育・学習事業」について、学習カリキュラムの関係などから学校の授業として体験を行うのは難しいと思われる。授業ではなく、「学校での体験機会の導入」といった表現に修正してはどうか。
- ・ 屋内競技は人の目に触れる機会が少ないので、日常的に人の目に触れるような取組をしていくことで市民に浸透していくものとする。
- ・ 産業祭への出展についてはどのような状況か。
⇒ 費用面などについて、現在調整中である。
- ・ 環境整備については、どの程度考えているのか。
⇒ サブアリーナへの壁の増設や学校跡地への専用体育館の設置等も考えられるが、決まっているものはない。様々な角度から、短期・中期・長期の視点で検討を行っていく。

4 コモンズAIの試験導入について

資料に基づきデジタル都市推進課より説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 以前導入した「公務員専用AIマサルくん」から「コモンズAI」に移行するのか。
⇒ 今回の試験導入の成果にもよるが「コモンズAI」に移行する方針で進めたいと考えている。
- ・ 100アカウントの振り分けについて、全庁的にグループリーダーに振り分けることは難しいか。
⇒ まず、役職にかかわらず総合政策部内で振り分ける予定である。残り分をグループリーダーに振り分けるには数が足りない。課単位であれば全課に振り分けることが可能だが、一律に振り分けるよりも、積極的に使いたい職員の希望を募った方が効果を検証するのに有効であると考えている。
- ・ DXの関係で新たなシステム等の導入が増えているが、評価等はどのように行っていくか。
⇒ 今年度、組織を改編する予定の情報化推進検討部会で評価していきたいと考えている。

5 龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030 後期基本計画の策定基本方針について

資料に基づき企画課より説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030について、大きく変更する部分はあるか。
⇒ 現時点で大きな変更は想定していない。社会情勢の変化等を踏まえて、必要な見直しを行う。また、政策の柱や施策については、令和12年度末までの計画である「将来ビジョン」に位置付けているため、基本的に変更は想定していない。
- ・ 今年度は、準備段階のような形になるのか。
⇒ 計画の素案の作成まで入っていくことになる。また、来年4月にまちづくり市民アンケートを予定しているが、新たなKPIを導入するには、そこでベース値を取っていくことも必要になると考えており、アンケートの取り方についても、昨年の行政評価の中で意見をいただいていることから、考えていく必要がある。
- ・ 市民懇談会は、後半に実施するスケジュールとなっているが、計画への反映等は間に合うのか。
⇒ 先程説明した市民参加での様々な取組やホームページ等を通じて継続して意見

	<p>を聴取しながら、素案としてベースを作成した上で、懇談会で意見交換を行うのが望ましいと考えているため、後半に位置付けている。</p> <p>【その他】 特になし。</p>		
要措置事項			
情報公開	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	
		公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）	